

# 東地域づくり協議会便り

平成 24 年 3 月 1 日 (第 4 号)  
発行 東地区地域づくり協議会  
茗荷沢開発センター内 779-3312  
発行責任者 会長 小澤 實



## 今年度新設された女性部の活動をお知らせします。

### ① 8月から12月まで東地区20集落の区長さんをお話しいろいろなお話をうかがいました。

東地区地域づくり協議会女性部では、「自分たちが住んでいる東地区についてもっとよく知りたい」を平成23年の活動として取り上げ、8月から12月にかけて、20集落のうち19集落を女性部役員5名のうち2名ずつで座談会形式にて区長様にお話をうかがいました。

集落をまわって感じたことは、東地域は自然に恵まれ、大きな災害、事故、事件などもなく本当に良い地域だと思いました。それぞれ集落には仲間同士のつながりがあり強い絆を感じました。

反面あまりにも恵まれた環境により危機感の薄さを感じられます。

防災組織についてお聞きしたところ、組織図を作ってそれぞれ各世帯に配布している集落はごくわずかです。19集落のうち半数の集落が防災組織図は作成していないとのことでした。防災組織はなくてもそれぞれの集落において防災訓練等を実施している集落もありました。昨年3月11日の東日本大震災のような想定外の災害がおきたことを考えますと今後のそなえとしてやはり組織図はきちんと作成しておく必要があるのではないかと痛感しました。

又、高齢者の増加、子供の数の減少、嫁不足、若者の集落離れ等、今の社会状況の波を少なからずうけている東地区の現状をみると、恵まれた環境を生かし活性化した地域づくりをかんがえてゆかなければならないものとおもわれます。そのためには、東地区の一人一人が「地域づくり協議会」に関心を持っていただき、声をだしあって東地区の発展に取り組む姿勢が大切かと思います。今回得た資料は、今後女性部の活動に生かしていく予定です。

聞き取りに関しましては区長様はじめ大勢の皆様のご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます

### ② 12月13日世界最大級の、柏崎、刈羽原発を見学しました。

福島第1原発事故以降、毎日のように、周辺住民の避難や屋内退避の様子、農畜産物への影響などが報じられていて、柏崎、刈羽原発から50km圏内の南魚沼市は、屋内退避計画区域となったからです。展示館では、職員が丁寧に対応してくれましたが、安全性を強調することには違和感を感じました。県内では、柏崎原発全基運転差し止めを求め提訴するようですし、夏頃までには、定期点検の為に休止炉を含め稼働原発はなくなりそうです。

電気によって便利な生活を享受している一人として、エネルギーの問題と正面から向き合う必要があると感じました。



## 3月11日 東地域に希望の灯をともしましょう!!

東日本大震災の1日も早い復興を願い、東地域を明るく照らすための雪灯籠に点火しませんか  
ご協力いただける方は、自宅近くに、雪灯籠を作り、午後7時頃から灯をともしましょう。何個でも結構です。

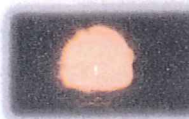
雪灯籠づくりの一例です。他にもいろいろ作ってみてください。

点灯の際は子供さんのやけどや火事等に十分の注意をお願い致します。

バケツに雪を詰め  
ひっくり返して穴  
を掘ります。



雪の壁に穴を掘り  
ます。



雪の玉を積み重ね  
ます。手間がかかるが、  
漏れる明かりがきれ



紙コップに妻楊枝  
などを刺しローソ  
クを立てます。

